

## 中学校第1学年用「Sイチ」

<b>Sサポート「チャレンジ問題①」</b>	学年等	年 組 番
<b>Today's Question (今日の1問)</b>	名 前	

かずなりさんは、素因数分解の考え方を使い、 $8 \times 15$ と $10 \times 12$ の答えが等しくなる理由について、次のように説明しました。

それぞれの式を素因数分解すると、  
 $8 \times 15 = 2 \times 2 \times 2 \times 3 \times 5$ 、 $10 \times 12 = 2 \times 5 \times 2 \times 2 \times 3$   
になります。  
それぞれの式は、同じ素数の2、3、5の積で表すことができるので、  
答えが等しくなります。

かずなりさんの説明をもとに、 $6 \times 14$ と $12 \times 7$ の答えが等しくなる理由を書きましょう。

それぞれの式を素因数分解すると、

## 答え（例）

それぞれの式を素因数分解すると、

$$\underline{6 \times 14 = 2 \times 3 \times 2 \times 7, \quad 12 \times 7 = 2 \times 2 \times 3 \times 7}$$

になります。

それぞれの式は、同じ素数の2、3、7の積で表すことができるので、

答えが等しくなります。

※ かずなりさんの説明を踏まえ、素数の構成が2、3、7であることが記述されていれば正解

間ちがっていたら、どこで、何を間ちがえたのか確認し、もう一回、  
答えを見ないで、下の□かノートにやってみよう。

それぞれの式を素因数分解すると、